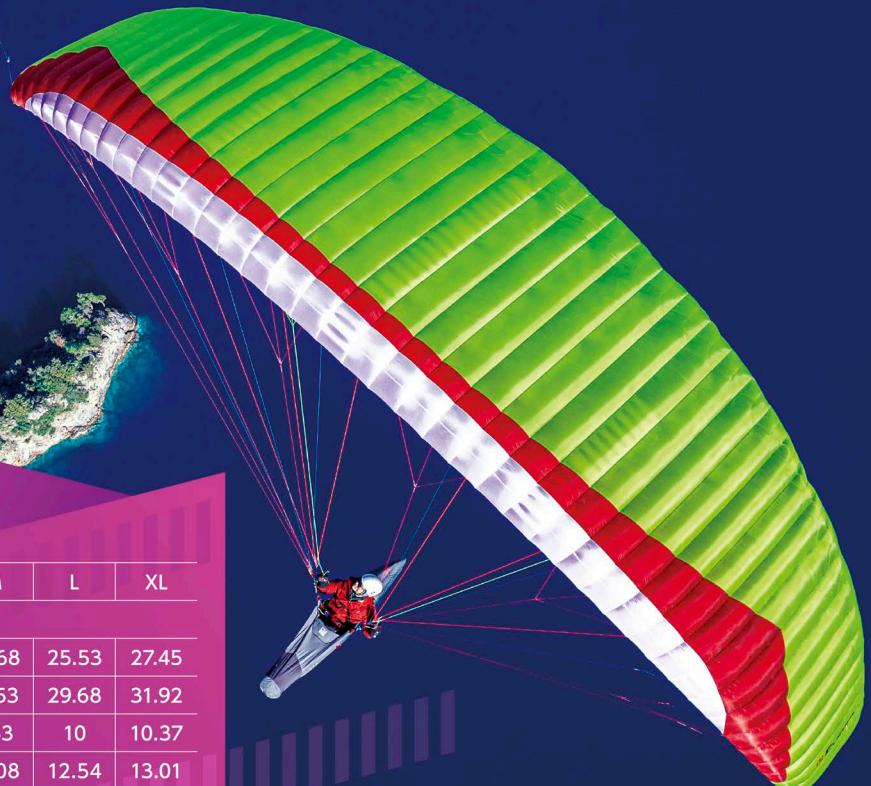




BORN TO CLIMB  Evora

エヴォラ



サイズ	XXS	XS	S	M	L	XL
セル数	51					
投影翼面積(m ²)	18.53	20.17	21.9	23.68	25.53	27.45
翼面積(m ²)	21.54	23.45	25.45	27.53	29.68	31.92
投影スパン(m)	8.52	8.89	9.26	9.63	10	10.37
スパン(m)	10.69	11.15	11.61	12.08	12.54	13.01
投影アスペクト比	3.92					
アスペクト比	5.3					
機体重量(kg)	4.2	4.5	4.7	5	5.3	5.65
フライト重量(kg)	55-75	65-85	75-95	85-105	100-120	115-135
認証(EN/LTF)	EN B	EN B	EN B	EN B	EN B	EN B



AEROTACT

BORN TO CLIMB

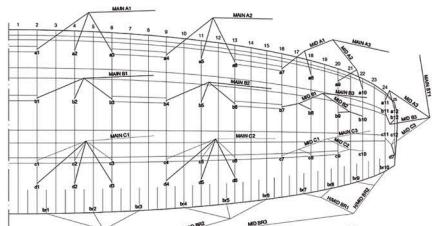
エヴォラは厳しいコンディション下であっても、いつも柔らかく優しく、あなたが夢見ていた場所へ連れて行ってくれる翼です。

才能のあるビギナーも経験豊富なレジャーパイロットも、エヴォラのユニークな特性を高く評価するでしょう。バランスの取れたターンと驚くほど効率的なグライドは、長い間あなたの完璧な相棒になります。

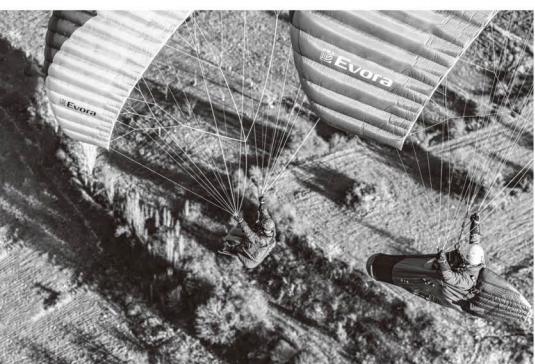
シンプルで安心のラインレイアウト

アスペクトレシオが5.3で、他メーカーの良く飛ぶローBクラスぐらいのポジションです。素材は、各メーカーが最近使用しているノーマルファブリックを用いていて機体重量はSサイズで4.7kgと一般的です。ライダーはシンプル、ラインはアッパーまで被膜がついているので、ボレロ7から乗り換えて、これからサーマルソアリングやグランドハンドリングをマスターしたいパイロットに最適です。

実際に飛んで翼を見上げると、3ライナー3ラインの構造で、内側2本のCラインはアッパーでカスケードされDラインに分岐しています。外側のラインは、カスケードのない純粋なA、B、Cのアッパーラインになっています（ラインレイアウト図を参照）。



シンプルな3ライナー3ラインのラインレイアウトで、内側2本のCラインはDラインへとカスケードされています。



エヴォラはさまざまな操作に的確に応答する完璧なバランスを持っています。

カスケード間は3ブロックで、その他は2ブロックとダイアゴナルリブをふんだんに使用し、しっかりと荷重分散ができています。カスケードの3ブロックは、ジンが得意とするクロスピーム構造で、この間の安定感を実現しています。

最適化された荷重配分

プラスチックロッドは、メインプロファイルのアッパー・パートに後縁まで施されていて、飛行中のプロファイルの安定感を求めています。これもジンの得意とするところです。

キャノピーを見上げると、翼の安定感を高めるために施すテンションコントロールは最小限です。この効果により、程よい安定感で最適化された新プランフォームとなり、グライドパフォーマンスが高そうです。

実際にアスペクト6.0アップのCクラスのグライダーの群れと飛んでみましたが、グライディングのパフォーマンスで劣る感じは全くしませんでした。これは、キャノピー自体の性能が素晴らしい、適切な荷重分散ができている証です。

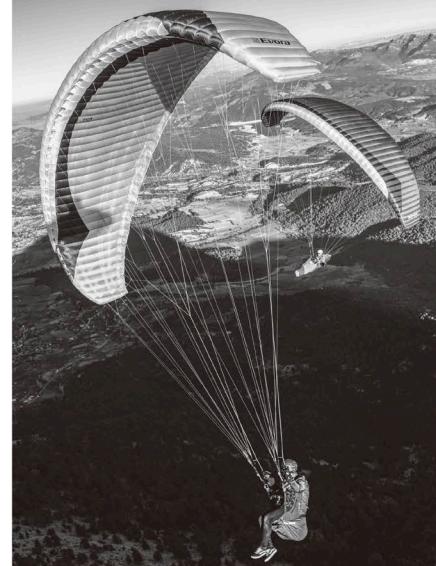
まさに「BORN TO CLIMB」

特筆すべきは、抜群のクライミング性能です。「BORN TO CLIMB」というキャッチフレーズ通り、とにかくよく浮きます。

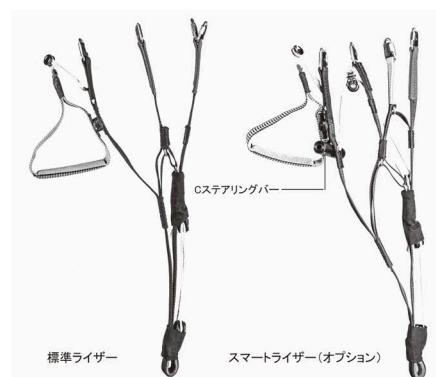
素晴らしいクライミングパフォーマンスの要因として、キャノピー自体の滑空特性が良く、エヴォラの持つこれまでにないハンドリングが上昇率の良さを醸し出しています。サーマルの中では、決してノーズが下に向かない上昇傾向の旋回性で、小さなサーマルのコアを確実にとらえてくれます。

操作はとても容易で、好みのバンク角になるまでブレーキコードを引き込めば、ロールインが完了し、快調なバリオ音が聞こえます。これまでにないブレーキレスポンスとハンドリング特性の旋回性。これがエヴォラの最大のセールスポイントです。

半信半疑でCクラスのグライダーと飛び始めてみましたが、これまでだったらCクラスに軍配が上がっていたような難しい気流の変化にもロスなく反応し、逆に旋回半径の調整が容易な分、確実に上昇します。エヴォラの旋回には、とても驚きました。



最適化されたプランフォームにより、ターンは比較的フラットで効率的なので、サーマルソアリングの技術を自分の物にできます。



ライダーはハンドリングに優れた12mm幅のライダーが標準装備です。Cライダーステアリングが可能なスマートライダーがオプションで用意されています。

最高のフライト経験をエヴォラで！

ヘッドウインドへのグライディングも、ロスを感じることは少なく、リーサイドからループサイドへとストレスなく移動することができました。

高速飛行は驚くほど速度が出るわけではありませんが、ペネトレーションが良いので、良い滑空比でどんどん進んでいく安心感があります。さらに優れたピッチ安定性は、スピードバーを駆使したフライトを学ぶパートナーとしても理想的です。

エヴォラは、これからサーマルの発生に関する経験を安全に重ねて行くには最適のグライダーと言えます。

Cクラスでは怖くて尻込みするようなコンディションも、ちょっといけないようなリーサイドのサーマルも、エヴォラに乗れば安心して経験できます。上達の早道を選びたいパイロットは、是非エヴォラに乗って遠くへ飛んで行ってもらいたいです。

REPORT : 扇澤 郁